

石油ストーブによる火災を防ぎましょう！

当消防本部管内では、例年、秋から春にかけて、ストーブに起因する火災が複数件発生しています。ストーブは誤った方法で使用すると火災を引き起こす可能性がありますので、次のことに注意し、火災を防ぎましょう。

○近くに燃えやすいものを置かない！



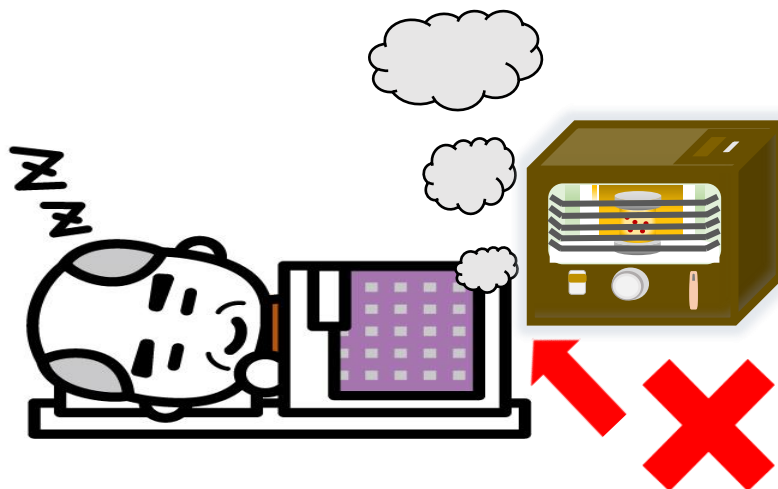
ストーブの上に洗濯物を干すと、水分が蒸発して軽くなった洗濯物が、熱気の上昇でストーブの上に落ちて着火する可能性があります。

また、新聞や雑誌などの燃えやすいものが近くにあると、紙類がくずれて熱源に触れ、出火することがありますので、ストーブの周囲には燃えやすいものを置かないようにしましょう。

カーテンの近くも危ないよ！



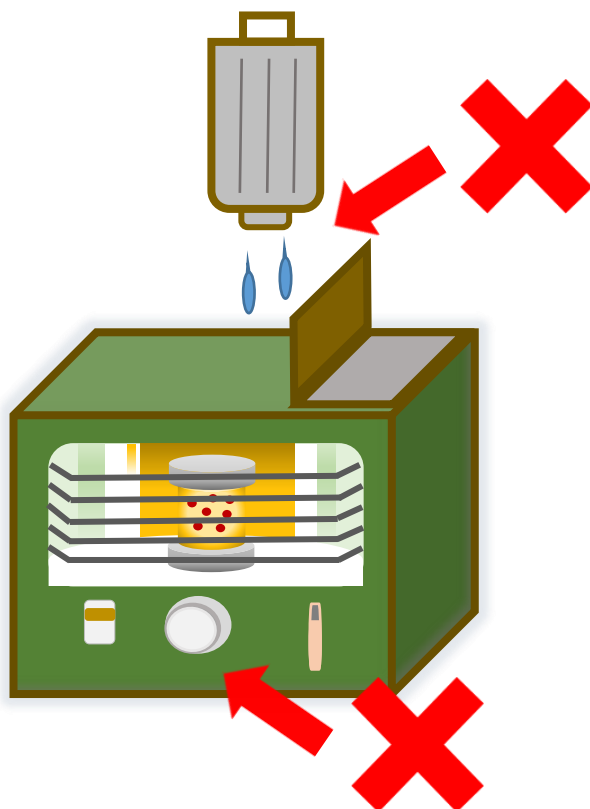
○寝るときはストーブとの距離に注意する！



就寝中の寝返りの際に布団とストーブが接触し、出火することがありますので、十分な距離をとって使用しましょう。

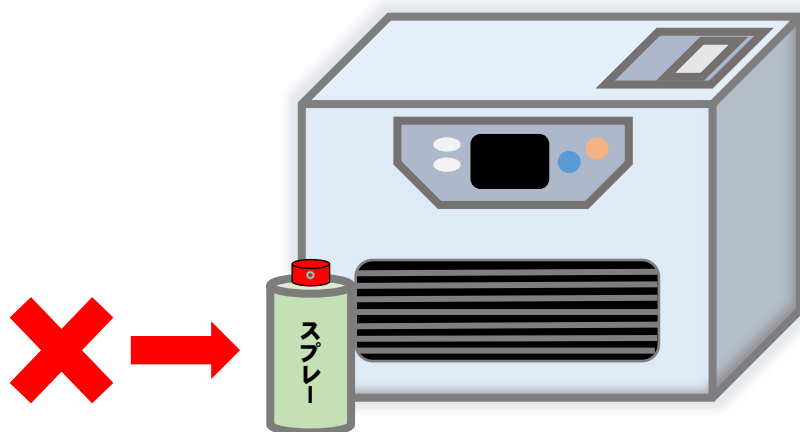
また、長時間目を離したり、使用しないときは、スイッチを切るなど消火するようにしましょう。

○給油の際は必ず消火し、カートリッジ式タンクのキャップを完全に閉めてからセットすること！



カートリッジタンクの蓋を外して灯油を補給後、蓋を閉め忘れたり、不完全な状態でストーブ本体に収納しようとする、灯油が点火中の燃焼筒にこぼれて出火することがありますので、給油をするときは必ず消火し、タンクの蓋を確実に閉め、灯油が漏れていないことを確認しましょう。

○近くにスプレー缶などを置かない！



ファンヒーターなどの近くでスプレー缶などを放置していると、温風で熱せられたスプレー缶の内圧が上昇し、破裂することがありますので、高温になる場所には絶対に置かないようにしましょう。